平成28年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所 【就労移行支援】 【就労支援 B 型事業】

ワークショップ大鰐

事業報告

平成29年5月15日

住 所:青森県南津軽郡大鰐町大字虹貝

字篠塚33番地11

電 話: 0 1 7 2 - 4 8 - 3 6 6 2 FAX: 0 1 7 2 - 4 8 - 3 0 2 8

$\langle I \rangle$	支担	爰内.	容																						
1	<u> </u>	上活,	支	援		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
2	京	光労:	移	行	支	援		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		2
3	ľ	乍業				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3
									業		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3
			(2)	パ	ン	事	業		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		4
			(3)	内	部	事	業		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		5
4		匚賃	向	上	報	告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		6
5	召	呆健	支	援		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		7
6	4) 眼	活	動	支	援																			
			(1)	行	事	等		•	•	•	•	•			•	•	•	•	•		•		8
			(2)	利	用	者	会	活	動		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		9
$\langle {\hspace{.1em}\rm I\hspace{.1em}\hspace{.1em}} \rangle$	給負	È	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	1
$\langle {\hspace{.08cm} {\rm I\hspace{08cm} I\hspace{08cm} I}\hspace{.08cm}} \rangle$	防災	Ę	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	2
$\langle \text{IV} \rangle$	広幸	艮	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	3
$\langle { m V} angle$	研修	冬及	てド	会	議																				
1		会議								•	•	•							•					1	4
2		开修		•				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		5
$\langle \mathrm{VI} \rangle$	苦情	青解	決		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	6
$\langle V\!I\!I \rangle$	地填	或生	活	支	援		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	7
$\langle V \hspace{-1.5mm} \hspace{-1.5mm} \hspace{-1.5mm} \hspace{-1.5mm} \rangle$	外雨	有	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	8
$\langle IX \rangle$	安全	と巡:	視	(虐	待	防	止	委	員	会)		•	•		•	•	•		•	•	•	2	0

〈I〉支援内容

〈I〉-1 生活支援

担当:幸山稚子

日常生活に必要な、基本的生活習慣の自立を目的とした。

自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援をした。

(1) 支援内容

- ①基本的習慣の定着のための支援をした。
- ・あいさつ、排泄、生理の手当て、衣類の着脱・調整・たたみ方、歯磨き、手洗い、 食事とその後始末、整理整頓、掃除、洗濯、入浴の支援をした。
- ②コミュニケーションを図れるように支援をした。
 - ・言語の受容と表出に関する支援をした。
 - ・パニックに対する本人への支援及び周りの利用者への理解に関する支援をした。
 - ・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援をした。
- ③行動に支障がある利用者に対する支援をした。
 - ・精神障害に関する理解とそれに関する支援をした。
 - ・身体障害(盲・聾を含む)に関する理解とそれに関する支援をした。
 - ・発達障害の理解とそれに関する支援をした。
- ④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援をした。
 - ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
 - ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
 - ・危険と思われる物の管理をした。
 - ・奇数月に職員が安全巡視を行い危険と思われる箇所の改善を行った。
 - ・ヒヤリハットの報告を徹底し未然に事故が起きないように、また再発防止に努める ように話し合いを行った。

〈I〉-2 就労移行支援

担当:鎌田健司

今年度は、実習並びに就労実績の達成は成されなかった。毎年10月に行われている障害者集団面接会への参加も今年は参加希望者がいなく不参加となっている。

現在、就労移行の利用者並びに保護者の就労へ対する意向が年々低下している傾向がみられる。また、一般就労ではなくA型事業所への就労希望が強いが、保護者の多くが強く就労を望んでいない状況である。秋の三者面談時には、就労ではなく、当事業所と工賃が高い他事業所との掛け持ちで利用したいという話も出ていた。

(1) 実習並びに就労実績 今年度実績無し

(2) 就労アセスメント 実施数 1名 ※詳細は別冊参照

(3) 次年度への課題

- ・引き続き各関係機関との連携による情報収集を図ります。
- ・利用者の就労に必要なコミニュケーション能力向上を図ります。
- ・利用者の就労に対する具体的なイメージ構築を図る支援策を立てます。
- ・利用者の特性に合った実習先・就労先を見つけ継続して続けられるように計画を立て て行きます。

〈 I 〉 - 3 作業支援

平成28年度は、直接処遇職員の半数が新規採用職員。支援の質を確保するため職業指導主任を中心としたOJTに重点を置き取り組んだ。その弊害として「パン作り」に携わる職員が1名のみになり、利用者処遇とパンの売り上げが下がる結果となった。

また、利用者の作業アセスメントを深め、得意な所を延ばし、また、利用者もいくつかの作業をローテーションすることが出来る様になることによって、いつも同じ職員と同じ仕事だけと言うことではなく、多くの職員と利用者の関わりを深め、仕事に「飽きが来ない」「やる気の向上」「仕事が楽しい」と思える様になって欲しい。

平成28年度の工賃目標平均月額7,000円に対し、工賃平均月額は7,599円だった。

(1)農産事業

担当:山中司

【年間合計収入 1,675,278円】

①野菜栽培 1,657,278円

栽培品目・・・長ネギ

販売先 ・・・近隣ラーメン店・鰐カム・大鰐町学校給食センター (株) あらき (幸楽苑)

○内容及び次年度の課題

天気の影響もあり全てのネギを収穫することができず、0.5 反ほど冬越しすることになった。越冬ネギに関しても(株)あらきで引き取ってくれる。

収穫したネギのほとんどを(株)あらきに卸していたこともあり単価が低く収入を上げることができなかったため、次年度は(株)あらきに納品する量を調整し、地域への直接販売量を増やし収入を上げたい。

畑の環境整備を目標に挙げていたが、予算の都合上機械(重機、側溝作りなど)を借りることができなかったため引き続き継続としやれる範囲で環境を整える。

平成29年度は連作障害を避けるため約4反の畑のうち約1反歩をネギ以外(小松菜、ラディッシュ、チンゲンサイを予定)を作付けする。(平成29年度は、上から4番目)

②施設外就労

18,000円

作業内容・・・リンゴ収穫、枝拾い

○内容及び次年度の課題

近隣農家へ出向き作業を行いました。リンゴ収穫作業の委託を受け、リンゴ運びなどを 行った。

平成27年度まで受託してたトマトのトーン処理作業は、職員不足などの課題があり、 平成28年度は依頼を受けなかった。また、平成29年度も同様とする。

(2) パン事業

担当:幸山稚子

【年間作業収入 1,083,869円】

○内容及び次年度への課題

今年度は職員一人体制だったため、職員が休むとパン事業が休まざるを得ず、加え利用者のパニックに対する対応も一人で行わなければならなかった。また、新商品開発も困難な状態だった。

利用者さんの作業ローテンションにより、毎日作業をしていた方が週2~3回になった事で、今まで出来ていたパンの工程での技術力が落ちた。パン事業は、利用者を固定で行った方が技術面での向上にプラスになったのではと感じた。また、販路が減少したため、目標収入には届かなかった。

○今後の展開

10年間パン事業を行ってきたが、パンの収入に対し材料費・製造経費などの支出が追いつかず毎年度約1,000,000の損失では事業が成り立たないため、平成28年度を以てパン事業を終了する。

(3) 内部事業

担当:山内彩子、山川裕紀子

【年間合計収入 2,457,203円】

①受託部門

・(有) アール (縫製作業) 241,796円

平成28年8月~平成29年1月は、作業量が少なかったもののほぼ1年をとおし毎月作業を頂くことができている。難易度の高い作業も増え単価も前年度より高いものもあるがその分、作業に取り組める利用者が限られてしまい職員の負担が多くなった。今後の課題として利用者が取り組める工程を増やすためにも技術の向上や、縫製作業に携わる利用者を増やしていきたい。

・リンクフーズ(玉ねぎ皮むき) 746,469円

平成26年から始まった作業であり、12月から3月までの期間の作業として行った。利用者の技術の向上により効率が良くなってきたため、平成29年度は作業場の冷房設備を整え長ネギの収穫調整時期を除き通年の作業として行う予定。

- ・今井産業 (ハニカムボード) 35,548円 今年度から始めた作業だが、今井産業より現場作業が忙しいという事と、ハニカムボードより簡単な商品の仕上げ作業を提供したいとの事で11月で終了した。
- ・大同紙業(リサイクル) 1,063,060円 平成28年6月から始めた新規作業。作業の流れの定着と利用者の技術の向上により、効率が良く、作業も日々切れること無く行われた。平成29年度は利用者の各家庭から高値のアルミ缶を持って来てもらうなどで収益を上げたい。
- その他

銅線の被服剥き

56,000円

ワークまつり出店

7,750円

銅線の被服剥き作業は、主立った作業の合間に単発的に行っていた作業だが、 平成28年度6月よりリサイクル作業が始まり、今まで室内の作業を行っていた利 用者が中心になりリサイクル作業に従事。そのため12月で終了した。

②自主部門

・タオル名入れ印刷

306,580円

毎年注文のある、弘前農業共済組合は年度末に注文が入ったため、平成29年度 の作業となった。平成29年度は、タオル印刷の作業ができる利用者を増やし効率 を上げたい。

(1) 目標工賃達成状況

					目標			対 27 年度比
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	(%)
A 目標平均工賃(月額)	(円)	$\mathbf{E} \div \mathbf{F}$	6,666	7,599	7,800			
B年間総収入	(千円)	! !	8,891	5,279	6,400			72 %
C 年間総原価 (工賃除く) (千円)	 	5,859	3,482	3,000			51 (%)
D工賃支払前収支	(千円)	B - C	3,032	1,797	3,400			112 (%)
E年間工賃総額	(千円)	 	2,922	2,611	2,800			96 (%)
F年間延べ利用者数	(人)	1 1 1	435	350	360			83 (%)

28年度は7,000円に目標工賃を設定していたが、大きく上回り7,599円になっている。

29年度は目標として7,800円設定にしているが、パン事業が無くなる事もあり現状の7,500円平均を維持できるように持っていきたい。

(2) 次年度の工賃向上へ向けた課題と取り組み

①農産事業

天候に左右され計画的に収穫できなかったことから、採りきれずに越冬せざるを得ない分があった。平成29年度は、作付け分は採りきる。また、販路を幸楽苑のみに頼ったことからkg単価が低かった。平成29年度は、地域食堂等に販路を広げ、kg単価を上げる。

②パン事業

平成28年度まで、生産や販売に力を入れ努力してきたが、赤字運営により撤退。 赤字事業や収益が薄い事業を辞め、収入が見込める事業により力を入れることにより 工賃向上につなげる。

③内部事業

平成28年度から取り組みを始めた、リサイクルの事業が継続して作業があり収入増につながった。平成29年度は、作業を請け負う先が、大同紙業から東北クリーンへ変わるが、作業内容は変わらず継続する。

収益を見込める作業として玉ねぎの皮むき作業がある。しかし、夏季期間においては品質低下(腐敗)の恐れから作業の受注が出来なかった。平成29年度収入増のため、作業場へエアコンを設置し、冷えた環境で作業することで腐敗を抑え、冷蔵庫に入りきる量で、こまめに搬入出することにより、携わることが出来るようにする。

〈 I 〉 - 5 保健支援

担当:幸山稚子

(1) 保健指導年間実施表

定期健康診断	6/1~17 、 11/2
	4/26·27、6/29·30、7/28·29 8/30、10/25、12/6、3/28·29

(2) 体力測定

11月19日(土) レクリエーションに組み込み実施

(3) 保健日誌からのまとめ

- ・感染症予防のうがい・手洗いを徹底し声がけを実施。(アルコール消毒液を設置)
- ・インフルエンザ予防接種を12月6日(火)、希望利用者19名に小山内医院でショップに往診し実施。
- ・女子利用者に生理の手当やエチケットについての保健指導を実施。
- ・毎日の利用者の表情や行動からその日の健康状態(特に精神状態)を把握し作業中の 事故などを未然に防ぐ様に支援していく。
- ・梅雨時、夏場の気温上昇時は水分補給や休憩を増やすなどの対策により何人かの体調 不良の訴えがあったが、熱中症までには至らなかった。今後も注意深く利用者の様子 を観察しながら支援する。

(4) 利用者さんの健康状態

対象者 13名 ※詳細は別冊参照

〈I〉-6 余暇活動支援

(1) 行事等

実施日	行事名	実施場所
4月16日(土)	保護者会総会・三者面談	ワークショップ大鰐
4月30日(土)	親子体験学習	板柳ふるさとセンター
5月91日(土)	ソフトボール練習	森山河川敷
5月21日(土)	スポーツレクリエーション	スキーセンタープラザ
5月28日(土)	大鰐町探索	大鰐町内
6月 4日(土)	ソフトボール練習	本山河川畝片坦
0月4日(上)	フライングディスク練習	森山河川敷広場
7月 2日(土)	買い物・DVD観賞	マックスバリュー大鰐店、ワークショップ大鰐
7月 9日(土)	西地区レクリエーション大会	五所川原市営球場・菊ヶ丘運動公園
7月16日(土)	親子バーベキュー	ワークショップ大鰐
8月 6日 (土)	映画鑑賞	ワークショップ大鰐
8月20日(土)	流しそうめん	ワークショップ大鰐
8月28日(日)	青森県障害者スポーツ大会	青森総合運動公園
9月11日(日)	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐
9月24日(土)	遠足 (田んぼアート)	田んぼアート第2会場
10月 8日(土)	カラオケ大会	カラオケ合衆国
10月22日(土)	三者面談	ワークショップ大鰐
11月 5日(土)	社会見学	三内丸山遺跡
11月19日(土)	体力測定と調理学習	ワークショップ大鰐
12月 3日(土)	親子忘年会	福家
12月17日(土)	クリスマスお楽しみ会	ワークショップ大鰐
1月14日(土)	新年会	ワークショップ大鰐
1月28日(土)	ラーメン外食	幸楽苑 弘前城東店
2月11日(土)	おいしい鍋を作ろう	ワークショップ大鰐
2月25日(土)	親子ボウリング	ファミリーボウル、ちょう家
3月18日(土)	温泉	鰐 come
3月25日(土)	簡単スイーツ作り	ワークショップ大鰐

[※]平成28年度は、計27回(内同日開催2回)の行事を実施した。

(2) 利用者会活動

①利用者全体会

担当:幸山稚子

偶数月の初日に15時頃から、利用者会を実施。行事等の話し合いや、各委員会からの報告等をしてもらった。また、頑張った人の発表では、作業や生活面で頑張った人を発表し、みんなの前で今後の抱負などを発表してもらった。

実 施 日	主な内容
平成28年 4月 1日(金)	・行事について
	・行事の感想
	・頑張った人(2月・3月)
	・お茶委員会から4月のおやつの発表
	・他委員会から特に無し
	・その他(28年度の委員会の希望をとった。)
6月 1日 (水)	・行事について
	・大鰐町散策の感想を聞いた
	・頑張った人(4月・5月)
	・お茶委員会から
	・行事委員会から
	・広報委員会から
	・その他
8月 1日 (月)	・行事について
	・頑張った人(6月・7月)
	・お茶委員会から
	・広報委員会から
	・行事委員会から
	・その他
	・ワークまつりの出し物で AKB をやる方に連絡事
	項があった。
10月 3日(月)	・行事について
	・行事の感想(ワークまつり)
	・頑張った人(8月・9月)
	・お茶委員会から
	・広報委員会から
	・行事委員会から(忘年会の会場が福家に決まっ
	た事の報告があった)
	・その他

12月 2日(金)	・行事について
	・行事の感想
	・頑張った人
	・お茶委員会から
	・行事委員会から
	・広報委員会から(12月5日祖維持の分担につい
	て話し合いがあると連絡)
	・その他 (横山美紗子さんから、八戸で行われた
	福祉協会の研修報告があった)
29年2月1日(水)	・行事について
	・行事の感想
	・頑張った人
	・お茶委員会から
	・行事委員会から
	・広報委員会から
	・その他

②行事委員会

担当:中嶋綾子

平成28年度計画にある「カラオケ」「親子忘年会」「親子ボウリング」の行事について、実施日2ヶ月前から第2・第4火曜日に会議日を設け、行事の内容・委員会の役割について会議を行った。「忘年会」については司会進行等の練習のため打ち合わせを増やし行事で必要な物の買い出し等にも取り組んだ。

③お茶委員会

担当:山内彩子

毎日のお茶委員会の仕事を通し、持続性・協調性・責任感を養った。

お茶の準備や毎月のおやつの計画を立てたり室内で使用するタオル等の洗濯・管理を行った。

活動日は、毎日『朝・休憩・昼休み・帰りの会後』とし、2ヶ月に1度担当を変えた。 会議日は、毎月最終週の水曜日とした。

④広報委員会

担当:山中 司

- ・行事・連絡事項を朝の会で発表した。
- ・掲示物の入れ替え・張り替えを行った。
- 年度初めに年間を通しての掃除分担を決めた。
- ・活動日は随時とした。

⟨Ⅱ⟩給食

担当:山口美香

(1) 平成28年度 給食指導

• 対象者 男 3名 女 6名 計 9名

指導内容	具体的指導方法	対象者			
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜~刻み食。	女2名 男3名			
糖尿病対策	①食事療法。	女1名			
肥満対策	①主食の量を軽くする。	女2名			
	②主菜・副菜~刻み食。				
食事の補助	①フォークの使用。	女1名			

[※]全体的に早食い傾向なので、全利用者に対して落ち着いてゆっくりよく噛んで食べるように声がけをしている。

(2) 平成28年度 年間行事食実施表

月	行 事	献 立 名	実施日	備考
7	七夕	冷やしうどん	7月 7日	
9	十五夜	栗ごはん	9月14日	
1 0	いも煮会	米沢風いも煮	10月 4日	
1 2	冬至	かぼちゃのいとこ煮	12月20日	
1 2	クリスマス	コーンライス、 トマトクリームシチュー	12月21日	
		ク゛リーンサラタ゛、セ゛リー(イチコ゛ミルク)		
3	ひなまつり	ちらし寿司	3月 3日	

(3) 平成28年度 郷土食 年2回 実施。

(4) 平成28年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

(5) 平成28年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

(6) まとめ・反省

- ・行事食の際は、季節感を感じながら楽しんで食べていたと思う。
- ・今年度も行事食・嗜好調査・給食だよりを実施する事が出来たので、来年度も維持 していきたい。皆さんが興味がわく給食だよりを発行していきたい。
- ・来年度も利用者の楽しみになるような新メニューを出していきたい。
- ・郷土食を2回しか出すことができなかったので、来年度はもっと出していきたい。
- ・かさ増し食材をもっと利用して、低カロリーでたくさん食べれるメニューを増やして いきたい。
- ・平成29年度も健康的で、利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切に していきたい。

⟨Ⅲ⟩防災

担当:田中大生

(1) 実施状況

①ワークショップ大鰐

実施日	訓練種別	訓練時間	想定	震度·出火場所	避難場所	避難時間
5/19	部分	10:30~10:45	地震	震度5 40秒	駐車場	3分20秒
9 / 2 7	総合	10:30~11:00	火災	2階 食堂	駐車場	3分18秒
3 / 9	総合	10:30~11:00	火災	1階 事務室	駐車場	3分04秒

- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・「おはしも」の徹底(押さない・走らない・しゃべらない・もどらない)をした。
- ・職員に対し、消火・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。
- ・消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。
- ・避難放送の際の「放送文言の原稿」をつくった。

②グループホームすみれ荘

実施日	訓練種別	訓練時間	想定	震度·出火場所	避難場所	避難時間
9/27	総合	16:40~17:00	火災	2階 居室	駐車場	2分31秒
3 / 9	総合	16:40~17:00	火災	2階 居室	駐車場	2分12秒

- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・「おはしも」の徹底(押さない・走らない・しゃべらない・もどらない)をした。
- ・職員に対し、普段一人勤務のため、第一優先は「人命」であることを再確認した。

(2) 次年度への課題・方向付け

- ・全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。
- ・放送機器の取り扱いと順序の再確認が必要。
- ・防災訓練があること自体で、落ち着かなくなり、訓練に参加できない利用者の対応。

〈IV〉広報

(1) 広報誌「阿闍羅」

担当:佐藤直幸、山内彩子、田中大生

- ①内容
 - ・平成28年度は、予定していた広報誌を発行することが出来なかった。
- ②次年度への課題

平成29年度は、新たな担当に引き継ぎ、発行するようにする。

(2) ホームページ

担当:中畑幸、鎌田健司、田中大生

- ①内容
 - ・いくつかの行事活動をアップしたが、平成28年度ほとんど更新できていない。

②次年度への課題

平成28年度中に作らなければいけなかった、津軽地区障害者就労継続支援事業所 共同受注窓口としてのサイトを作ることが出来ず、平成29年度は必ず作成する。 また、ホームページ更新ができる職員の育成をする。

阿闍羅会公式ホームページURL 阿闍羅会フェイスブックURL http://ajarakai.jp/

https://www.facebook.com/ajarakai

(3) その他の広報

担当:竹内友紀、中嶋綾子、鎌田健司

①大鰐町民文化祭への参加

平成28年11月3日(木)~6日(日)に大鰐町中央公民館にて開催された、大 鰐町文化祭に作品展示している。

②地域のまつり等へ参加

外商事業を中心にし、施設紹介も含め、生産物のアピール及び展示即売する形で参 加した。また、当法人だけではなく、近隣の同様な施設の物についてもPR及び販売 をしている。

参加状況

・大鰐温泉つつじまつり

・鰐come祭り

・各種施設のまつり

・まるごと大鰐商人市

・農福連携マルシェ など

〈V〉研修及び会議

〈V〉-1 会議開催状況

(1) 事業会議

担当:植田善久、中嶋綾子

開催日	会議名	構成員	会議内容
3月15日 (火)	4 月		・次月の各業務予定報告
4月21日(木)	5 月		・作業予定
5月19日(木)	6 月		・収支報告 (就労会計)
6月16日(木)	7月		・外商業務報告
7月21日(木)	8月		• 行事計画立案検討
8月18日(木)	9月	阿闍羅会	・虐待防止委員会報告
9月 2日(金)	ワークまつり会議	全職員	・安全巡視報告
9月 8日 (木)	10月		・その他の事業展開について
10月20日(木)	11月		など
11月17日(木)	12月		
12月15日(木)	1月		
1月19日(木)	2月		
2月16日(木)	3 月		

(2) 給食会議

担当:山口美香

開催日	構成員	会議内容
		・給食業務、内容の協議
事業会議と同日開催	阿闍羅会	・嗜好調査の検討
※ワークまつり会議を除く	全職員	・調理、味付けの工夫等の検討
		・利用者給食指導の内容報告と検討

(3) ケース会議・就労会議

担当:田中大生

		A mile I of	5
開催日	会議名	会議内容	構成員
4月12日(火)	カンファレンス	①職員の資質向上に関すること	
4月19日(火)	第1回	・研修報告 ・職員研修	
5月11日(水)	第2回	・ヒヤリハット事例検討	
6月 8日(水)	第3回	②利用者の個別支援に関すること	
7月 9日(水)	第4回	・支援計画書、モニタリング記録表	
8月16日(火)	第5回	・ケースカンファレンス	
9月 7日(水)	第6回	・家庭訪問記録、実習・就労支援記録表	
10月13日(木)	第7回	・作業能力評価 ・三者面談の内容報告	ワークショップ大鰐
11月 4日(金)	第8回	③行事計画に関すること	全職員
12月 7日(水)	第9回	• 行事計画	
1月11日(水)	第10回		
2月 8日(水)	第11回		
3月 2日(木)	第12回		
3月27日(月)	第13回		

 $\langle V \rangle - 2$ 研修等参加(実施)状況

実施日	研修等参加(実施)名	場所	参加者
5月11日	新任職員研修	青森県立保健大学	山川裕紀子、建山直巳
5月12日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
5月20日	安全運転管理者講習	大鰐町総合福祉センター	田中大生
5月28日	阿闍羅会全職員対象研修会 安全運転講習	ワークショップ大鰐	全職員
6月23日 ~ 6月24日	全国知的障害関係施設長等会 議	パシフィコ横浜	 白石安英
6月28日	障害を理由とする差別の解消に 向けた地域フォーラム	アピオ青森	白石安英
7月1日	障がい者の働く場パワーアップ フォーラム	いわて県民情報交流センター	山中司、田中大生
7月15日	福祉と暮らしの勉強会	弘前市社会福祉センター	白石安英、田中大生
7月23日	自閉症支援セミナー(基礎コース		山内彩子、山川裕紀子
7月23日 7月29日	安全衛生大会	日林観儿初座館アスパム ラ・プラス青い森	白石安英
8月25日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
8月27日	さくらジョブネット研修会	岩木文化センター	白石安英
9月3日	社会福祉トップセミナー	青森県立保健大学	田中大生
9月24日	自閉症支援セミナー(基礎コース)		山内彩子、山川裕紀子
9月26日	社会福祉法改正セミナー 福祉サービス苦情解決関係者当	弘前商工会議所	田中大生
9月27日	研修会	青森県運営適正化委員会	中嶋綾子
11月10日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
	成年後見制度に関する研修会		
11月5日	第1回	ホテルニューキャッスル	白石安英
11月6日	青森県手をつなぐ育成会・青森 県知的障害者福祉協会 6月研	青森県総合社会教育センター	白石安英
11 日 10 日	成年後見制度に関する研修会 第2回	+= +	 九万字学
11月12日		ホテルニューキャッスル	白石安英
11月29日 11月30日 ~ 12月1日	就労促進セミナー 青森県知的障害者福祉協会職 昌研修会	青森県総合社会教育センター 	田中大生、金枝友和 白石安英、山内彩子
11/]00Д 12/]1Д	成年後見制度に関する研修会	7(7) 2 3 7 7(7) 70	
12月3日	第3回	ホテルニューキャッスル	白石安英
12月9日	成年後見制度研修会	ホテルニューキャッスル	田中大生
12月3日 ~ 12月4日	サービス管理責任者研修(就労) ひろネットオンブズマン委員会・	青森県立保健大学	中嶋綾子
12月16日	施設 合同研修会	弘前総合学習センター	田中大生
12月5日	社会福祉法人制度改革と社会貢献 事業についての説明会	リンクモア平安閣市民ホール	白石安英
	青森県障害者虐待防止·権利擁		
1月12日	護研修 成年後見制度に関する研修会	リンクステーション青森	中嶋綾子
1月14日	第4回	ホテルニューキャッスル	白石安英
1月16日	青森県中小企業家同友会津軽 支部例会	 地域交流センター鰐come	白石安英、田中大生
1月17日	離職防止環境整備研修	ウエディングプラザアラスカ	中嶋綾子
	社会福祉法人制度改革と社会貢献	7-1:12/2/////////////////////////////////	1 - my 42X J
1月24日	事業についての説明会 自閉症スペクトラム支援ネット勉	リンクモア平安閣市民ホール	白石安英
1月27日	強会 阿闍羅会全職員対象研修会	弘前総合学習センター	金枝友和
1月28日	門間維芸王職員对家研修芸 虐待防止研修	 ワークショップ大鰐	全職員
2月7日	野菜講習会	弘前総合学習センター	山中司
2月7日 2月9日	<u>お来調目云</u> 職員スキルアップ研修		全職員
		ワークショップ大鰐	
2月16日	メンタルヘルス研修会 さくらジョブネット 福祉施設合同	<u>ウエディングプラザアラスカ</u>	田中大生
0.01.0	説明会	アートホテル弘前シティ	鎌田健司
2月21日	青森県知的障害者福祉協会		白石安英、田中大生、中嶋綾子、幸山稚子、山中司、鎌田

※平成28年度 ワークショップ大鰐 研修参加件数 計39件

研修参加人数 延べ108名

〈VI〉苦情解決

(1) 施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 白石安英 苦情受付担当者 主任 中嶋綾子

(2) 第三者委員

ひろさき地域福祉ネットワーク・オンブズマン委員会(ひろネット) 訪問委員 寺口美代子、工藤昌子 (2名)

(3) 訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点		
4 / 1 4	寺口、工藤	6名の利用者と面談	特に問題なし	
5/27	寺口、工藤	6名の利用者と面談	特に問題なし	
6 / 2 4	寺口、工藤	6名の利用者と面談	特に問題なし	
8/19	寺口、工藤	6名の利用者と面談	特に問題なし	
9/27	寺口、工藤	5名の利用者と面談	特に問題なし	
10/21	寺口、清藤	5名の利用者と面談	特に問題なし	
1 1 / 2 5	寺口、工藤	6名の利用者と面談	特に問題なし	
12/22	寺口、工藤	4名の利用者と面談	特に問題なし	
1/20	寺口、工藤	4名の利用者と面談	特に問題なし	
2/17	寺口、工藤	6名の利用者と面談	特に問題なし	
3/31	寺口、工藤	4名の利用者と面談	特に問題なし	

※訪問回数 計11回 面談者数 延計58名

⟨Ⅶ⟩地域生活支援

(1) グループホームすみれ荘

②食事

- ①住居 定員6名、現員4名(平成29年3月31日現在) 利用者内訳 (就労1名、就労継続支援B型3名) (区分なし:2名、区分4:2名)
 - メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作った。 健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫した。 食事後の食器は、自分の分を自分で洗うように指導した。
- ③生活 新しいグループホームが出来たことにより、利用者の出入りがあった。入居 メンバーが替わることによる多少の問題もあったが、現在は落ち着いた生活が できている。

世話人に対し、新しく入居した利用者のカンファレンスを実施した。 防犯対策として正面出入口と、非常出入口に防犯カメラを設置した。 夜間職員がいないときの緊急対応のために、緊急通報装置(ボタン)を設置 し、青森綜合警備保障と契約した。

④内容及び次年度への課題

定員まであと2名分の居室があり、体験をしながら、入居につなげていく。 利用者の生活の安定と健康をはかり、住みやすい環境を作っていく。 バックアップ施設として訪問回数を増やし入居者の現状を把握することで、 ン芯下生活と、何でも相談しあえる環境を作りたい。

- (2) グループホームこすもす
 - ①住居 定員6名、現員3名(平成29年3月31日現在)利用者内訳 (就労継続支援B型3名)(区分なし:1名、区分2:1名、区分4:1名)
 - ②食事 メニューについては栄養面を配慮した。 健康面を留意して、好き嫌いなく食べられるように工夫した。 食事後の食器は、自分の分を自分で洗うように指導した。
 - ③生活 当法人既存グループホームとは違う新しい生活スタイルのグループホームと して、平成28年11月より開所。一般のアパートに近い形になれるよう工夫 した作りとそれによる自立度を高めることが出来るのではと考える。

世話人に対し、新しく入居した利用者のカンファレンスを実施した。

防犯対策として出入口と、建物裏側に防犯カメラを設置した。

夜間職員がいないときの緊急対応のために、緊急通報装置(ボタン)を設置 し、青森綜合警備保障と契約した。

④内容及び次年度への課題

定員まであと3名分の居室があり、体験をしながら、入居につなげていく。

Ⅷ〉外商

担当:鎌田健司

今年度から「がんばろう障害者元気ショップ事業」から「津軽地区就労支援継続支援事業所共同受注窓口」へと名称が変わっている。県からの助成金を活用し販売用車両を購入し、各施設の商品の集配・販売・展示・配布を行っている。

新たな取り組みとして、近隣の施設や各参画施設との協力体制を取り、「ノウフクマルシェ」を実施している。しかし、準備期間の設定や連絡調整など、次年度へ多くの課題が残る形となった。

昨年よりイベントへ参加する機会が多く設けたが、工賃へ反映されるまでは至らず、年間売り上げについては、各参画施設で取り扱い商品の製造中止などがあり、それに伴い取引先数の減小へと繋がっている。現存の取引先も納品回数の減少もあり、それを補う新たな取引先の確立が出来ず、昨年度より下がっている。

(1)参画施設及び年間売上

ワークキャンパス大鰐	2,	822,	720円
ワークショップ大鰐		441,	5 3 0 円
エイブル		169,	220円
ワークランド茜		53,	500円
就労サポートひろさき		39,	500円
ないすらいふ		12,	500円
せせらぎの園		9,	4 4 0 円
サポートセンターさくら		1,	600円
月見野園			0 円
月見野食房			0 円
夢工房月見野			0 円
いわきの里			0 円
玄輝門			0 円
MEGO			0 円
青松園			0 円
ワークセンターつばき			0 円
つがる野工房			0 円
ワークセンターのれそれ			0 円
合 計	3,	3 3 0,	0 1 0 円

(2) 参加(実施)イベント

4月 9日 春の鰐 come まつり 4月10日 おおわに地産品市 5月21日~ 5月25日 大鰐温泉つつじまつり まるごと大鰐商人市 6月 4日~ 5日 7月30日~ 31日 夏の鰐 come まつり 10月 9日~ 10日 ノウフクマルシェ in さくら野 10月15日 ふれあい広場 ケッパレ東北復興支援フェア(商人市同時開催) 10月22日~23日 11月15日 青森県社会福祉大会 11月19日 アップルフェア (鰐 come) まるごと大鰐商人市 11月20日

11月24日 大鰐町社会福祉大会

12月 4日 全日本シニア大鰐大会(鰐 come)

※イベント参加回数 13回 延参加日数 21日間

(3) 次年度への課題

各参画施設の連携強化と販売計画の再構築が必要であり、イベント等で取り扱う商品集 荷もこれまで以上に増やしていきたい。それに伴い、商品の PR・展示・販売の方法も改 善が必要となる。

販路拡大・製品紹介については県からの助言を踏まえて方向性を確立していきたい。ま た、参画施設間の流通や情報交換も積極的に行われるように促していく必要がある。

(IX) 安全巡視(虐待防止委員会)

担当:佐藤直幸

(1) 安全巡視実施日

実施日	担当者	実施内容
7 / 5	中平恵美・山内彩子	法人事業所全部を訪問し
9 / 2 8	山中司・竹内友紀	注意箇所を点検、事業会
1/16	植田善久・中嶋綾子	議で報告し検討する。
3 / 2 8	中畑幸・幸山稚子	

今年度は3ヶ月に1回、キャンパス・ショップより各1名ずつ選出し実施した。前年度より改善箇所が少なくなっており、環境の整備がはかられてきたように感じる。

引き続き環境の整備の確認をしていきたいと思う。

(2) 虐待防止委員会実施日

期間	実施日	担当者	実施内容
4月~6月	7 / 9	中平恵美・山内彩子	全職員の虐待防止チェック
7月~9月	2/14	山中司·竹内友紀	リストを集計し虐待防止委
10月~12月	2/14	植田善久・中嶋綾子	員会を実施。結果を事業会
1月~3月	4/18	中畑幸・幸山稚子	議で報告、問題点等を周知。

安全巡視を実施中、法人職員の利用者処遇を確認気づいた部分を報告、チェックリストを活用し現在どのような推移をたどっているかを様子観察した。年度当初に実施した時より虐待注意項目が大幅に減少、法人職員に周知されてきたように感じる。今年度の問題点として、チェックリスト事態がセルフチェック用になっている為、どのような問題点があるのか具体的内容を確認するため、平成29年度より様式を変更して実施したいと思う。